

静脈注射認定看護師(IVナース)育成 プログラムとワーキングの取り組み



IVナース育成WG

静脈注射認定看護師(IVナース)育成WG

- 目的:

静脈注射認定看護師の育成を継続し、静脈注射に関する看護師の質を担保する

- 役割:

① 静脈注射認定看護師取得に向けての取り組み

② 静脈注射認定看護師の育成プログラムの企画・運営・実施・評価および更新制度についての検討

メンバー：12名

看護師長 3名

副看護師長 3名

看護師 6名

静脈注射教育プログラム

IVに関する**知識と手技の標準化**・認定による可視化



STEP4：実技試験による安全・安心な実践力確認、
評価者による客観的他者評価

STEP3：筆記試験による知識修得状況確認・客観的評価

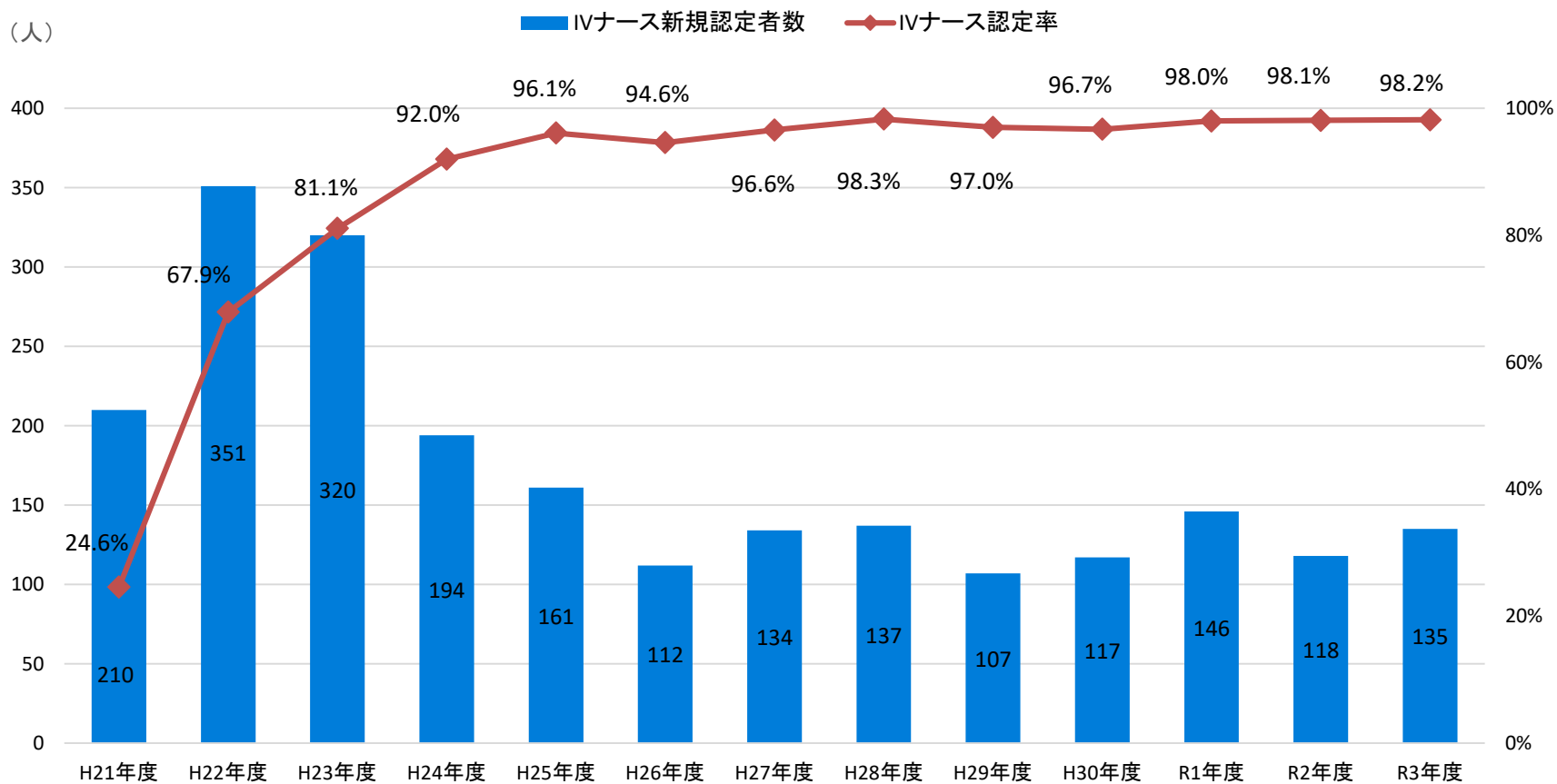
STEP2：実技演習による安全・安心な手技・手順確認

STEP1：静脈注射講義（患者看護、薬剤知識、解剖生理、感染管理、安全管理、
法的責任等）による静脈注射に関する専門知識修得、再確認

静脈注射教育プログラムの経過

| | | |
|----------------------|---|---|
| <p>平成 21年度</p> | <p>4STEPの教育プログラム開始(毎年度)</p> | <p>プログラム参加者アンケート 評価実施(毎年度)</p> |
| <p>平成 22年度</p> | | <p>eラーニング教材開発 (視聴型教材、テスト型教材)</p> |
| <p>平成 23年度</p> | | <p>eラーニング教材効果測定 《他部門へのプログラム拡大》 ☆医学部研修医の採血演習 で指導者役割を担う</p> |
| <p>平成 24年度</p> | <p>☆各部署にIVナース取得推進者を配置 ⇒自部署の育成サポート役 ☆育成対象部署を全部署へ拡大</p> | <p>《地域へのプログラム公開》 ☆STEP1 「講義」を公開</p> |
| <p>平成 25年度</p> | | <p>《地域へのプログラム公開》 ☆STEP1「講義」、 ☆STEP2「実技演習」を公開</p> |
| <p>平成 26年度以降</p> | <p>教育プログラム継続・見直し 育成目標値設定</p> <p>更新制度 実施</p> | <p>地域へのプログラム公開</p> |

IVナース認定者数の推移



令和3年度 IVナース育成WGの活動状況

| 月日 | 4月 | 5月 | 6月1日 | 7月 | 8月 | 9月7日 | 10月 | 11月 | 12月7日 | 1月 | 2月9日 | 3月 |
|-------------|---------|--------------------|-----------------------------|----|----|----------------------------|-----|------------------------|------------------------------|----------|---------------------------|-----------------|
| WG | | | 【第1回】 第1回活動計画立案プログラム準備 | | | 【第2回】 更新テスト準備 活動中間評価 | | | 【第3回】 更新テスト試行 (eラーニング) | | 【第4回】 第2回年間活動評価プログラム準備 | |
| 静脈注射教育プログラム | 外部受講者募集 | | 運営・実施・評価 (地域公開) 講義・演習 | | | 認定筆記試験 | | | 運営・実施・評価 | | | 認定筆記試験 講義・演習 |
| IVナース認定更新制度 | | 部署への働きかけ 認定率の確認 | | | | 更新テスト時期予告 更新対象者の確認① | | 更新テスト時期予告 更新対象者の確認② | テスト直前通知 | テスト終了前通知 | | 認定更新制度評価 |

※新型コロナウイルス感染対策を実施し、地域公開を再開。

令和4年度 IVナース育成WGの年間活動

| 月日 | 4月 | 5月 | 6月 7日 | 7月 | 8月 | 9月 6日 | 10月 | 11月 | 12月 6日 | 1月 | 2月 7日 | 3月 |
|-----------------|--------------------|---------------------------|------------------------|----------------------|----|--------------------------------------|-----|---------------------------------------|----------------------|------------|----------------------|----------|
| WG | | ・ I V W G 打ち合わせ資料準備 | 【第1回】第3年間活動計画立案プログラム準備 | | | 【第2回】更新活動中間評価テスト準備 | | キャリアアセッサー報告書分 担案の作成 | 【第3回】更新テスト実施（eラーニング） | | 【第4回】第3年間活動評価プログラム準備 | |
| 教育プログラム 静脈注射 | 外部受講者募集 再試験者の確認 | 運営・実施・評価 | | 講義・演習・筆記試験 （地域公開） | | | | | 運営・実施・評価 | | 講義・演習・筆記試験 | |
| 認定更新制度 IVナース | | 部署への働きかけ 認定・更新率の確認(通年) | | | | 更新テスト時期予告① 更新対象者の確認① デモテスト準備開始 | | 更新テスト時期予告② 更新対象者の確認② 更新テストデモテスト | 更新テスト直前通知 | 更新テスト終了前通知 | | 認定更新制度評価 |

IVナース更新制度について

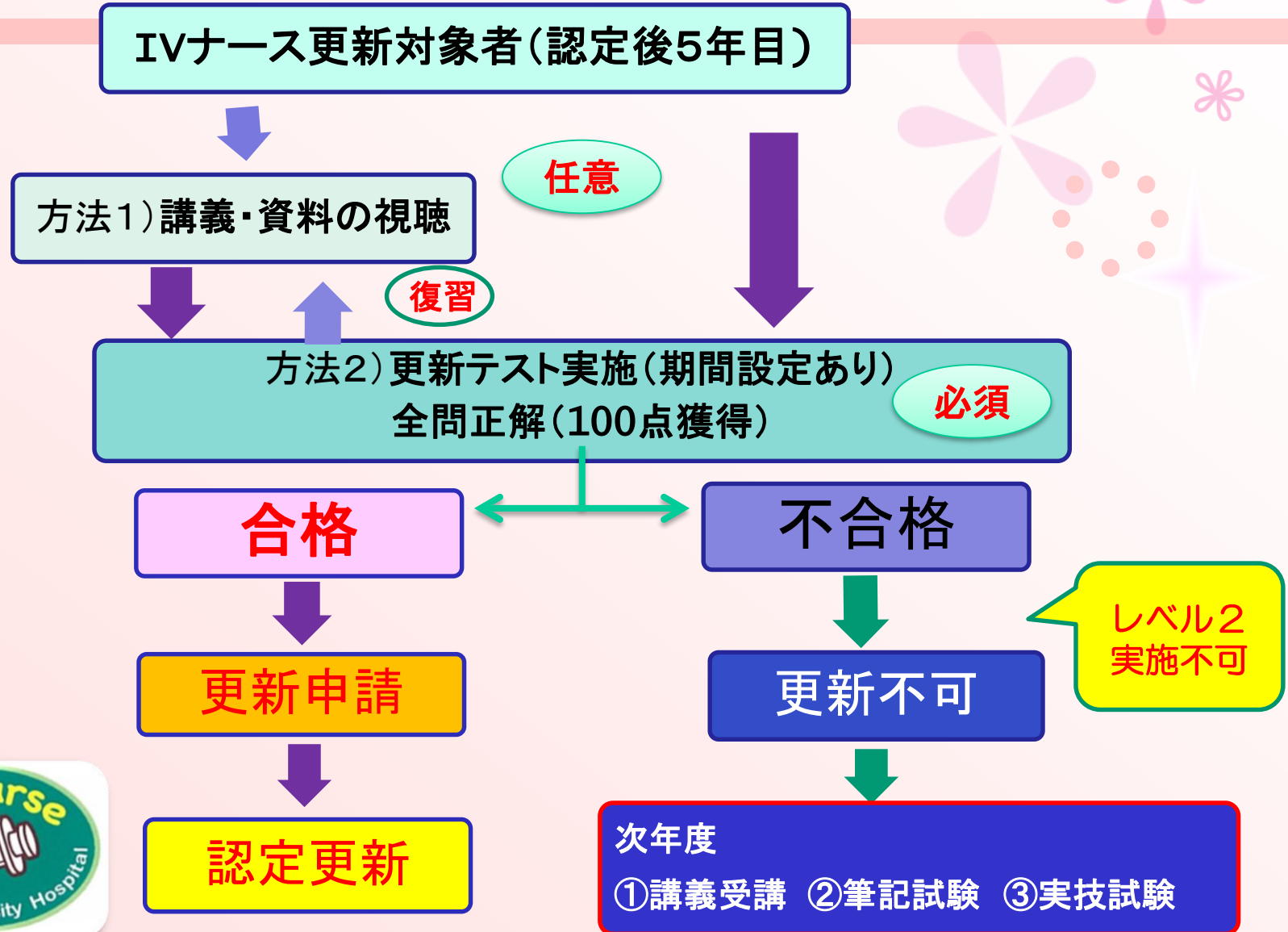
- 背景:

平成21年度から育成を開始したIVナース認定後**5年以上**経過した看護職員が増え、**質の担保が必要**となった

- 目的:

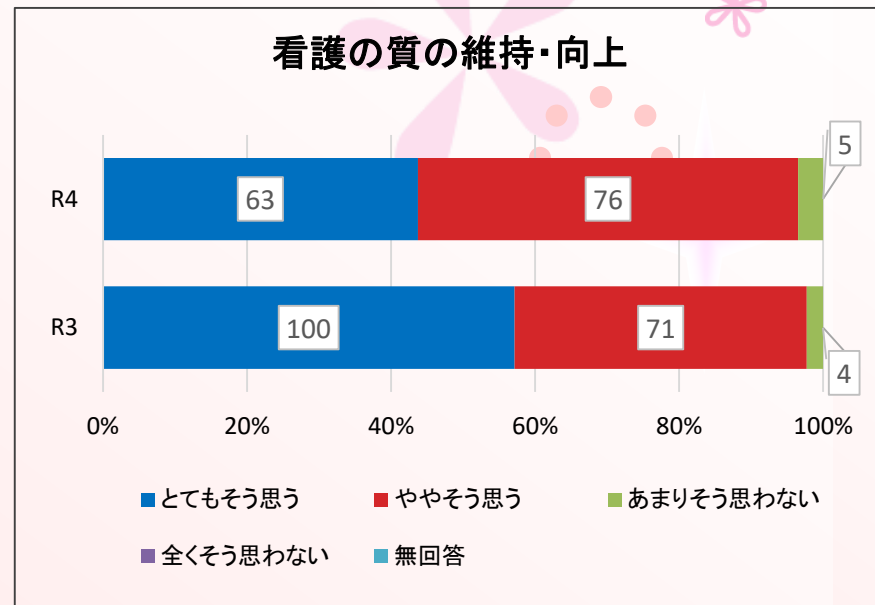
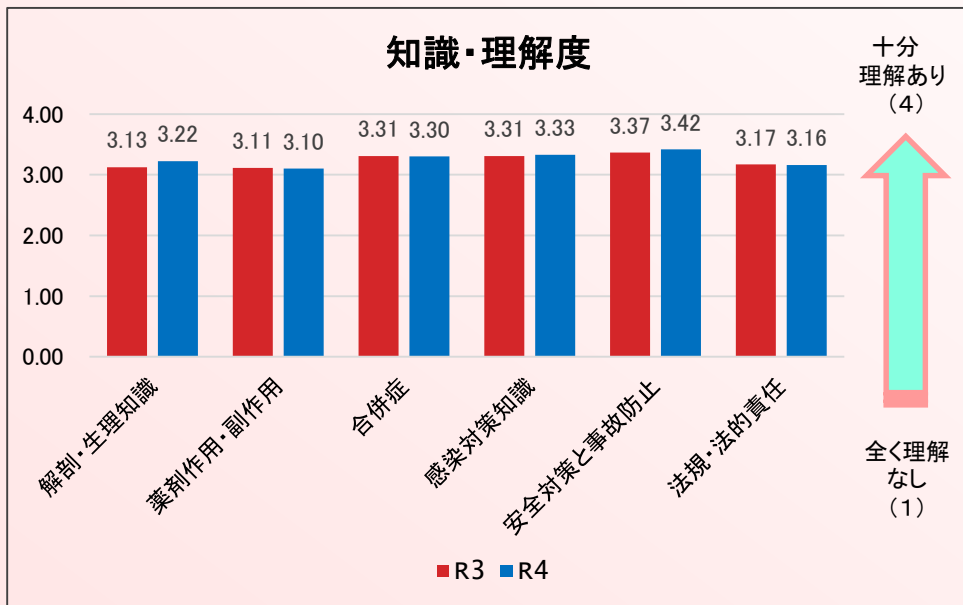
IVナースとして**安全な静脈注射実施**のために、**継続的な質の維持向上**をはかる

IVナース更新制度の流れ



令和3・4年度 IVナース認定更新テスト後のアンケート結果

(令和3年度 n=175 回収率:93.1% 令和4年度 n=148 回収率:97.3%)



感想

- 基本的な知識を繰り返し学習することで、自分自身がきちんと理解していなかった部分がわかり、再学習ができた
- 通常行っている業務をエビデンスに基づいて振り返るいい機会になった

地域への公開プログラムについて

講義公開の目的

- 地域の看護職員が参加することで、静脈注射実施に関する正しい知識を学び、日常看護業務に反映させることで、静脈注射の看護実践力向上に役立てる

実技演習公開の目的

- 各施設での指導的役割を担う看護職員を対象に、安全・安心な技術、看護ケアを実技演習を通じて確認してもらう。演習後は、それぞれの学習内容を活用して各施設の研修や教育計画等に役立てる



静脈注射教育公開プログラムの結果

| | | 講義 | 演習 |
|--------|-----------------------|------------|-----------|
| 平成24年度 | プログラムSTEP1公開 「講義」 | 50施設188名 | |
| 平成25年度 | STEP1・2公開 「講義」「演習」 | 5施設 17名 | 5施設 14名 |
| 平成26年度 | | 7施設 13名 | 7施設 13名 |
| 平成27年度 | | 8施設 31名 | 4施設 17名 |
| 平成28年度 | | 16施設 37名 | 9施設 16名 |
| 平成29年度 | | 14施設 31名 | 15施設 28名 |
| 平成30年度 | | 13施設 27名 | 10施設 18名 |
| 令和元年度 | | 18施設 45名 | 11施設 23名 |
| 令和2年度 | | 中止 | |
| 令和3年度 | | 13施設 24名 | 13施設 19名 |
| 令和4年度 | | 14施設 35名 | 11施設 24名 |
| | 参加者累計 | 158施設 448名 | 85施設 172名 |

令和4年度

静脈注射教育プログラム研修（6月実施）

令和3年度より、地域公開講座再開

講義

- 感染症対策を実施
 - 院内・院外受講者の席を分ける
 - 院外受講者は、検温、問診票の記載
 - 座席は1つ開けて使用し、常時換気

参加施設：14施設

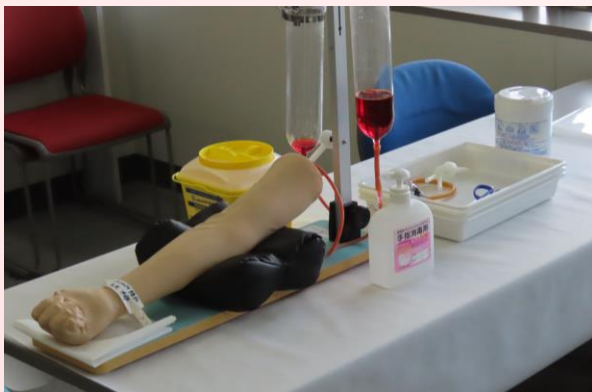
院外受講者：35名

令和4年度

静脈注射教育プログラム研修（6月実施）

演習

- 感染症対策を実施
 - ・院内・院外受講者の研修時間帯を分けて実施
 - ・院外受講者は検温と問診票の記載
 - ・1G2人、90分で実施
 - ・研修物品の使用後のふきあげ



参加施設数：11施設

院外受講者：24名

令和4年度

静脈注射認定看護師育成研修（1月実施）

講義

2日に分けて、臨床大講堂で動画講義を視聴

演習

2部屋に分かれ、1部屋の人数を最小限とした
指導者1人が、2人/Gを2グループ担当した

筆記
試験

受験者に番号を割り当て
南棟・北棟などで部署をまとめ、受験部屋を分散

今後の課題



- 静脈注射認定看護師育成プログラムを継続し、適宜見直しを行いながら、IVナースの育成や更新制度の活用により静脈注射に関する看護の質を担保する
- 感染状況を踏まえながら、静脈注射認定看護師育成プログラムの地域施設の参加を継続し、地域全体での看護の質の担保につなげていく